問　次の親子の会話とそれに続く補足を読み、後の設問に答えなさい。

子：ニュースで「週休３日制」っていうのを知ったんだけど、どういうものなの？お父さんは土日が休みだよね？
親：うん、そうだよ。お父さんは、土曜と日曜が休みで月曜から金曜までが会社に行く日になっている。普通の会社はそんなもんだよ。土日が休みじゃない人もいるけどね。
子：なんでそうなっているの？
親：お父さんが子どものころは週休１日で土曜も会社だったり学校だったりしたけど、法律で１週間に 40 時間が働く時間になって、それを８時間で割ると５日になるよね。それで「1 週間に５日が働く日」となって、週に２日休みを取るようになったんだと思うよ。
子：ということは、週休３日ってなると、休みの日が１日多くなるってことだよね。すごくいいよね。
親：単純に休みが１日増えるならうれしいよね。でも、そうじゃないらしいよ。
子：どういうこと？
親：週休３日っていっても、さっき言ったように１週間に 40 時間は働いてもらおうっていう会社もあって、１日の働く時間を８時間じゃなく、10 時間に増やして１日分の休みを確保しようという会社もあるんだよ。
この場合は、働く時間の合計は変わらない訳だから、給料も減らないけどね。
子：給料が減る？
親：そう。だって働く時間が減るのに給料はそのままだったら、働く人はうれしいけど、会社としてはどう思うかな？だから、会社によっては週休３日制を選択制にして、週休３日を希望した社員は、週休２日の社員に比べて２割の給料を減らすというところもあるんだ。この場合は１日に働く時間は８時間のままだから、さっきの会社と違って働く時間も減るんだけどね。
子：給料も減らさずに、休みが１日増えるって会社はないの？
親：当然あるさ。そういうことを試してみた会社があって、週休２日制のときよりも社員一人一人の生産性が上がったっていうニュースもあったくらいだよ。
子：でも、なんでこんな時期に週休３日っていうのが話題になるの？
親：昔から週休３日っていうのは話としてはあったんだけど、今回のこのコロナ禍で自宅で仕事をする人も増えたし、以前のように自由に出かけられなくなったよね？とは言っても、コロナ禍が去ったからといって以前のような生活に戻れるかと言ったら、そんな保障もないだろう？だから、働き方も昔とは違ってきたし、働き方の意識から変えていかなきゃならないってことで週休３日っていう話が本格化したんじゃないのかな。
それに、国も「選択的週休３日制」として、週休３日を希望する人に対して、例えば子育てや親の介護、あるいは副業や勉強の時間に充ててもらうようにできないか検討を始めたみたいだしね。
子：確かに「テレワーク」もこのコロナ禍で話題になったよね。
親：そうだね。会社に出社しなきゃ仕事はできないって思われていたわけだけれど、このコロナ禍で出勤するな、自宅から仕事をしろ、ってことになって、これまで満員電車に揺られながら、遅延事故や台風があっても必ず会社に出勤していた人たちが、自宅からの仕事を余儀なくされたじゃないか？これまで会社に行くことが大事だと

考えられていたのに、それが大事なことじゃないのかも？って考える人も出てき始めたんだよ。

子：自分のこれまでの働き方を変える？

親：そう。確かに、医療や物流などコロナ禍でもこれまで通りに会社に出勤しなきゃいけない仕事の人もいるけど、これまでの働き方で本当に良かったのか、ポストコロナ期も同じように働くことができるのかを考えるきっかけになったと思うんだよね。

子：ならいいことなのかな。

親：週休３日の良し悪しは別としても、「これからの働き方」を考えるきっかけとなったことは良かったんじゃないかな。

（補足）

厚生労働省「令和２年度就労条件総合調査」によると[1]、週休２日制を採用する企業の割合は82.5％であり、そのほとんどを占めている。今回のテーマである週休３日制についての調査結果はないものの、月１回以上週休３日制、３勤３休、３勤４休等が該当する完全週休２日制より休日日数が実質的に多い制度を採用する企業は8.3％となっている。逆に、週休１日制又は週休１日半制を採用する企業は9.2％となっている。

（１）週休３日制の導入によって日常生活にどのような変化がもたらされるかを、会話の内容だけでなく、会話から推測できる事柄も含め400字以内で説明しなさい。

（２）週休３日制の導入の是非について、（１）の解答を踏まえながら400字以内であなたの考えを述べなさい。